

東 分 署

積載車

仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、四国中央市（以下「市」という。）が令和8年度常備消防施設整備事業により購入する東分署災害対応資機材積載車（以下「車両」という。）を製作するにあたり必要な事項を定めるものである。
- 2 車両の製作は、「道路運送車両法」及び「道路運送車両の保安基準」に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防車両の安全基準について」の要件を満たすこと。
- 3 艤装は、J I S規格に基づいて精選された材料を使用し、十分な強度及び耐久性に富むものであること。また、点検整備、清掃及び修理等が容易に行えるようにすること。
- 4 完成車は、愛媛県陸運支局長の行う新規登録検査合格後に納入すること。なお、新規登録手数料（課税分）は、本車両価格に含むが、新規登録手数料（非課税分）、リサイクル料金、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険に関する費用は別途支払うものとし、本車両価格の中に含まないこと。
- 5 車両に取り付ける消防専用無線電話装置等（以下「無線機」という。）は、デジタル無線機に精通した施工業者を選定し市の承認を受け、四国総合通信局への申請から運用開始までの電波法上必要な一切の諸手続き全てを受注者が行い、無線局免許状の交付及び市の検査終了をもって納品とする。ただし、無線機一式は現有車両に取り付けているものを移設するものとし、配線、取付部品等の必要な材料は新規製品を使用すること。
- 6 車両に取り付ける車両動態管理システム（以下「AVM」という。）は、同システムに精通した施工業者を選定し市の承認を受け、運用開始までの必要な一切のシステム設定及び動作確認全てを受注者が行い、市の検査終了をもって納品する。ただし、AVM一式は現有車両に取り付けているものを移設するものとし、配線、取付部品等の必要な材料は新規製品を使用すること。
- 7 受注者は、契約にあたり本仕様書を十分熟知の上、了承し、定めのない細部については、市と協議の上、その指示を受け製作すること。
- 8 受注者は、契約後2週間以内に市と製作等に関する事前協議を実施し、その後、1週間以内に事前協議の議事録を1部提出するものとする。また、製作にあたり市と打合せを行い、製作承認図を作成し、市の承認を得て製作に着手すること。なお、この仕様に基づき一部製作できない場合、又は製作することにより機能が低下する場合は、市に連絡の上、承認又は指示を受けること。
- 9 受注者は、製作承認図を変更する必要がある場合は、市と打合せの上、理由書及び変更図面を提出し、承認を得ること。
- 10 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 11 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、メーカーが改良変更を予定している

場合、又は変更したときは最新のものを使用すること。なお、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

- 12 本仕様書に明記のないものについては、メーカー公表の標準仕様とする。
- 13 製作に使用する全ての部品等は、新品を使用すること。
- 14 本仕様書に記載のないものについても、必要なものは良心的に製作又は取り付けをすること。
- 15 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。実施予定日については、おおむね2週間前までに市に連絡し調整すること。
 - (1) 艀装中間検査は、市が適当と判断する時期に受注者製作工場で実施すること。
 - (2) 完成検査は、市が適当と判断する時期に実施すること。
- 16 納入関係は、次のとおりとする。
 - (1) 納入場所 四国中央市中曾根町500番地
四国中央市消防防災センター
 - (2) 所有者の住所 四国中央市三島宮川4丁目6番55号
氏名 四国中央市長
 - (3) 使用の本拠の位置 四国中央市中曾根町500番地
- 17 保証期間は納入後1年間(塗装、メッキは2年間)とする。ただし、設計、製作、技術及び材料不良に起因した不備欠陥等による場合は、保証期間満了後であっても無償で交換、又は修理を行うこと。また、納入後3年間は無償で点検等の巡回サービスを実施すること。
- 18 納入時には、燃料をタンク容量限界(満タン)まで補給すること。
- 19 納入後、走行距離1,000km又は1か月経過後に点検を行うとともに、エンジンオイル及びオイルエレメント交換を無償で行うこと。
- 20 提出書類は次のものとする。
 - (1) 受注者は、契約後に製作承認図として次の書類を3部提出すること。
 - ア 製作工程表
 - イ 製作承認図
外観5面図・艀装外観図・ボックス内艀装図・キャブ内艀装図・車体骨格図
 - ウ 取付品・取付装置並びに積載品・付属品を明記した書類
 - エ 電気配線図
 - オ 重量及び重心位置計算書
 - カ 諸元明細書
 - キ その他、市が必要とする図面
 - (2) 受注者は、納入時に完成図書として次の書類を2部提出すること。
 - ア 製作工程表
 - イ 製作承認図

- ウ 工程写真（データ含む）
 - 各製作工程（シャシ、組立中、完成）
 - 完成写真（前面、左右側面、後面、上面）
- エ 計量証明書
- オ 改造自動車計算書
- カ 受託評価合格プレート写し（小型動力ポンプ）
- キ 車両取扱説明書
- ク 小型ポンプ取扱説明書
- ケ 装備品及び付属品の説明書及び保証書（写し含む）
- コ 装備品及び付属品の検査書、検定合格書又は証明書（写し含む）
- サ 外注先一覧表
- シ 積載資機材納入一覧表（住所、電話）
- ス 自動車検査証
- セ 緊急自動車の指定証及び届出確認証
- ソ 納品書及び納品内訳書
- タ その他、市が必要とする図書（訂正後の承認図等）

※上記の製作承認図書類、完成図書及び取扱説明書は、エイナーファイル及び図書にあったファイルにそれぞれ分類し綴じること。

第2 概要

本車両は、防災、減災を主目的とし、各種火災はもとより、自然災害に至るまで幅広く対応するための装備を有するものとする。さらに、林野火災等を考慮し、小型動力ポンプを積載、河川や谷川から放水を行うことができるものとする。

第3 仕様シャシ（寒冷地仕様とする）

1 主要諸元

- (1) 型式 : 2 t 級ダブルキャブオーバー型
- (2) メーカー : 国内メーカー
- (3) 駆動方式 : 四輪駆動方式
- (4) トランスミッション : オートマチックトランスミッション
- (5) 使用燃料 : 軽油
- (6) 排気量 : 2,000 cc以上
- (7) 全長 : 4,700 mm以下（全長は、支障のない限り短くすること。）
- (8) 全幅 : 1,700 mm以下
- (9) 全高 : 2,900 mm以下（車高は、支障のない限り低くすること。）
- (10) ホイールベース : 2,600 mm以下

- (11) 総重量 : 4,990 kg以下
- (12) 乗車人員 : 5名以上
- (13) 最高出力 : 100kW 以上
- (14) 制動装置 : ディスクブレーキ (フロント) ※ABS付
- (15) バッテリー : 80D26L型 2個 (取付可能最大)
- (16) タイヤ : ラジアルタイヤ
- (17) ホイール : スチールホイール、ホイールキャップ付き
- (18) 各種計器
 - ア エンジン回転計
 - イ エンジン水温計
 - ウ エンジン油圧警告灯
 - エ エンジンアワーメータ
 - オ 電圧計

2 装備品

- (1) パワーステアリング
- (2) ドアミラー : 両側電動格納ドアミラー(メッキ仕様)
助手席補助ミラー (メッキ仕様)
- (3) 後退警報器 : ブザー式又は音声合成式
- (4) エアコン : 運転席、助手席及び後部座席 (別途協議)
- (5) 各種安全装置 : エアバック
制動装置 (ABS、FUP、衝突被害軽減ブレーキ装置、
車両姿勢制御システム、プリクラッシュブレーキ)
- (6) パワーウィンドウ : 全ドア
- (7) ドアロック : 集中式ドアロック
- (8) シート : 全席超防汚シートカバー
- (9) モニタ型バックミラー : 7インチ以上のカラーモニタ
- (10) ドライブレコーダー : 高画質ドライブレコーダーを前後に取り付けること。
記録媒体 32GB 以上、パソコンで記録映像が再生できること。
- (11) ヘッドライト : LED
- (12) フォグランプ : LED
- (13) 各種灯火類
 - ア 方向指示灯 : LED
 - イ 尾灯 : LED
 - ウ 後退灯 : LED
 - エ 制動灯 : LED

- オ 助手席マップランプ : LED
- (14) サイドバイザー : キャブ各ドア上部
- (15) メッキグリル
- (16) メッキミラーカバー : ステイを含む
- (17) 牽引フック
- 3 シヤシ付属品
 - (1) 泥除けゴム : 全輪
 - (2) フロアマット : 前後席
 - (3) ナンバーフレーム : 前後ステンレス
 - (4) オイルジャッキ
 - (5) 車両工具
 - (6) 非常信号灯
 - (7) スペアタイヤ : スチールホイール付き
 - (8) スタッドレスタイヤ : ホイール付き (スペア付き)
 - (9) タイヤチェーン : シングル用
 - (10) 三角停止板
 - (11) 牽引ワイヤー
 - (12) 鍵 : エンジンキー及びボックス等
 - (13) 大型時計 : キャビン内 (GPS又は電波式)

第4 車両全体の構造

- 1 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐食性、防水性及び耐久性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐えうるものであること。
 また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等は軽量化を図り総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。
- 2 本車両は、人口集中地区を管轄する部署に配備する車両として、可能な限りコンパクトな構造で艤装し狭い路地の進入及び小回りに対応できること。
- 3 車両キャブは、居住性・乗降性を十分考慮し、計器・スイッチ類は操作しやすい位置に集約して取り付けること。
- 4 車両に設けるステップ、ブラケット、手すり及び握り棒等の取り付け部分には十分な補強を施すこと。
- 5 ボデーに取り付ける部品の取り付けボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用することとし貫通部分で危害を及ぼす部分は袋ナットを使用すること。
- 6 ボックス部分と側板との接合部分には、パッキン等を用いて有効な防水措置を施す

- こと。また、コーキング及びシーリング類は弾力性のあるものを使用すること。
- 7 各種ハンドル、レバー及びスイッチ類には、名称・開閉方向・操作方法等が明確に識別できるようプレート及びLED灯を取り付けること。
 - 8 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
 - 9 資機材等の積載及び出し入れにより損傷のおそれがある箇所については、アルミ板又はステンレス板を用いて保護すること。
 - 10 取付品及び付属品は、安全確実に積載でき、走行で脱落しないよう強固に取り付け、かつ容易に取り外しができる堅固な装置を備えること。
 - 11 バッテリー充電管理装置を装備し、外部AC100V入力コネクタ（10mコード付き）でバッテリー充電器を介して、待機時の車両バッテリー及び小型動力ポンプの充電が行え、パイロットランプで充電の状態が確認できること。マグネットコンセント（防水カバー付き）はキャブの適切な位置に設けること。
 - 12 給油口は、給油が容易に行える構造とし、資機材の積載及びその他の支障がない位置に設けること。また、給油口に燃料の種類と容量を表示すること。
 - 13 車両最大牽引能力に耐えうる牽引フック又はステンレス製シャックルを車両前後部に設け、牽引時にワイヤーロープが車両に接触しない構造とすること。（詳細は別途協議）
 - 14 市が指定する取付品及び取付装置と積載品及び付属品については、別途打合せの上取り付けること。

第5 キャブの構造

1 キャブの外装

- (1) 消防章を、キャブフロント中央部に台座を設けて取り付けること。
- (2) ドア開放時の反射板（ドアエンドリフレクター）を全ドアに貼付すること。なお、ドア幅全体に貼付すること。
- (3) キャブの乗降口及びフェンダー部にアルミ保護板を設けること。
- (4) フロントグリル、アウトサイドミラー及び補助サイドミラーは、メッキ仕様とすること。左側アウトサイドにはアンダーミラーを増設すること。
- (5) 各ドアには、雨天時に有効なサイドバイザーを取り付けること。
- (6) ナンバー枠を前後に取り付けること。
- (7) キャブ屋根上部に取り付ける各電装品は、確実に取り付けるとともに防水処理を施し、ボデー貫通部には専用貫通金具を使用すること。

2 キャブの内装

- (1) AVM及び無線機一式を適切な位置に取り付けること。（別途協議）
- (2) 電子サイレンアンプ及びスイッチ類（10連スイッチ）等は、センターコンソール

- ボックスに集約し、操作性を考慮した配置とすること。なお、運転席及び助手席操作が主体となるスイッチについては別途配慮すること。(取り付け位置は別途協議)
- (3) 電子サイレンアンプは、市指定のもので2スピーカー式とし、出動予告スイッチ音声合成キャンセルスイッチ、モーターサイレン音スイッチ・メッセージ(1ch・2ch)を運転席及び助手席から容易に操作できる位置に設け、小型動力ポンプ電動油圧式昇降装置の固定解除及び手動式アルミバーシャッターの開放を示す警告灯、無線電源を、10連スイッチ内に設けること。なお、エアバック作動時に支障とならないよう配慮すること。音声合成メッセージについては、現場活動用、火災予防広報用メッセージ入りとする。(別途指示)
- (4) 前席で視認できる位置に、確認ランプ(小型動力ポンプ電動油圧式昇降装置等)を設けること。(別途協議)
- (5) エンジン回転計、エンジン水温計、エンジン油圧警告灯、エンジンアワーメータ及びデジタル電圧計をメータパネル又はインストルメントパネルに設けること。
- (6) キャブ内前方の適切な位置に、ドライブレコーダーを取り付けること。モニタ型バックミラーは、ルームミラー部に取り付け、車両後方を広角に常時確認できる7インチ以上のカラーモニタで、接続するカメラは昼夜問わず視認可能な高性能品を使用すること。
- (7) キャブ内に固定式の地図等を収納するボックス(A3サイズ、端部トリムシール付き)を1個取り付けること。(詳細は別途協議)
- (8) 後部座席下にシートライザーボックスを設け、左右側面に扉を取り付けること。
- (9) 座席シートには、全て超防汚シートカバー(防水仕様)を施すこと。また、シートベルトは定員数設けるものとし、ドア側4座席は伸縮式3点式ベルトとし、その他は2点式ベルトとすること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (10) キャブ天井部は、断熱処理を施すとともに、各種配線等を露出させない構造とし、電装品及び配線取り付け箇所が容易に点検できる難燃材料の内張を取り付けること。
- (11) キャブ内天井部には、LED式室内灯を設け、必要に応じて運転に支障がないよう遮光措置を施すこと。
- (12) 助手席にはLED式マップランプを取り付け、後部座席左右天井側面には、小型LED式室内灯を取り付けること。
- (13) 2口コンセント(AC100V-1000W)を地図ボックスに取り付ける。取り付けできない場合は、キャブ内の適切な位置に取り付けること。(5口電源タップを付属すること)
- (14) 各配線は、色分けしてキャブ内の集合スイッチ盤に結線し、ヒューズボックスを間に設けること。また、同ボックス内には、予備ヒューズを必ず備えること。
- (15) ヒューズボックスは、特別電装品専用とし点検整備に容易な位置に設け、各名称

及び容量を表示し、電気機器関係のヒューズ配線図も明確にすること。

- (16) 床面に設置する電装機器については、水損を防止するため、台座等を設け取り付けること。
- (17) キャブ内の汚損及び水損を防止するため、ゴム製フロアマットを敷くこと。
- (18) キャブ内フロントガラス上面には、運転に支障となる日照を有効に遮断することができるサンバイザー2枚を取り付けること。

第6 ボデーの構造

1 ボデーの艤装

- (1) 車体形状は、箱型とし左右側面各1枚・後面1枚、手動アルミシャッターを設け施錠できるようにし、巻取部にシャッター損傷防止策を講じること。また、シャッター枠にLEDの照明を設け、開放時には夜間照明と連動して点灯すること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (2) 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- (3) 左右リヤフェンダー後方に資機材収納庫を設け、扉はステップ兼用扉とし内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取り付けること。また、油圧ダンパーによる開放防止措置を施すこと。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (4) 後面シャッター内は、資機材収納スペース及び小型動力ポンプ積載スペースとし、同小型動力ポンプを電動油圧昇降装置で容易に出し入れができる構造とすること。なお、電動油圧昇降装置にマルチラックを取り付け、吸管を積載すること。(詳細は別途協議) なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (5) 左右面シャッター内は、資機材収納スペースとし、必要に応じて可動式の棚を設け、ベルト、手すり、資機材収納用アルミボックス等の固定具、樹脂製のこを設け、機能的に使用できる構造とすること。(詳細は別途協議) なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (6) 後輪フェンダー部に展開式フェンダーステップを設けること。
- (7) ボデー天井部は、堅牢かつフラットで、雨水の滞留及び漏水しない構造とし、隊員数人の荷重に耐えうる強度を有すること。
- (8) ボデー天井部に、アルミ縞板ボックスを積載すること。なお、大きさについては、車両高に配慮すること。(詳細は別途協議)
- (9) 車体後面右側に、展開式の天井昇降用はしごを設け、はしご最上段付近(車体天井後部)にステンレス製一段手すりを設けること。
- (10) フェンダー部は、洗浄の際に泥土の入らない構造とし、泥除けはゴム又は樹脂製とすること。

(11) 車体の重要点検箇所及び主要部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要な箇所には点検口又は点検扉を設けること。

(12) その他の付属品取り付け位置及び取り付け方法については、市と十分な打合せを行うこと。

2 資機材収納ボックス

(1) 各ボックスは、収納物に応じた大きさと合理的に仕切り、固定金具及びワンタッチベルト等を取り付け、走行中の振動でも落下及び移動しない構造とすること。

(2) 引出装置には、飛び出し防止ロックを左右に取り付け、工具を使用することなくロック及び解錠ができること。なお、重量的に耐えうるものであれば、片方のみでも構わない。

(3) 各ボックスの床面には、必要に応じて樹脂製のこ、並びに適切な大きさの水切りを設け、防水加工を施すこと。また、必要に応じて内壁にゴム板を貼り、資機材保護に努めること。(収納資機材に応じて別途協議)

(4) ボックス内を有効に照らす位置に、LED式ボックス灯を必要数取り付け、シャッター又は扉の開閉に連動すること。また、配線は、資機材等に干渉することなく体裁よく延長すること。

(5) その他の積載資機材については、重量バランスを考慮して配置すること。

(6) 本仕様書に記載されていない事項についても、取り扱い上必要と認められる場合には、別途協議し対応すること。

第7 小型動力ポンプ及び昇降装置

1 小型動力ポンプ

(1) 動力ポンプの技術上の規定を定める省令のポンプの級（B-2級）に該当するものとし、日本消防検定協会が行う試験に合格したものとすること。

(2) エンジンは、2サイクルエンジンとすること。

(3) 最大出力 30KW 規格放水量 1.0 m³/min 以上とすること。

(4) 電子制御燃料噴射式・オルタネーター・無給油式真空ポンプ・オートパワーOFF 等最新式の安全装置及び機能等を搭載した小型動力ポンプとすること。

(5) 小型動力ポンプは、脱着が可能な専用の台車に固定させた状態で移動、放水及び車載が可能であること。

2 電動油圧昇降装置

(1) 車両後部に、電動油圧昇降装置を取り付けること。

(2) 電動油圧昇降装置は、小型動力ポンプ（台車付き）、マルチラック及び吸管の昇降に十分に耐えうる能力を有すること。

(3) 電動油圧昇降装置の固定確認灯を取り付けること。

(4) 夜間操作時に必要な作業灯及びスイッチを設けること。

(5) 非常時には、手動にて昇降できる手動昇降装置を設けること。

第8 電装品及び警報装置

- 1 艀装スイッチはシャシ用メインスイッチと連動させること。また、電気系統の配線は、個別のヒューズ回路によって配線し、各回路の表示を明確にするとともに、点検修理が容易に行えるよう設けること。
- 2 キャブ前方上部に、オーバーヘッドコンソールボックス、運転席と助手席の間にセンターコンソールボックス及びその後部に携帯無線機等を収納するボックスを設け、無線装置一式（外部通話装置付き）、音声合成機能付き電子サイレンアンプ、艀装スイッチ（S B W - D 1）等を収納すること。各スイッチには銘板を貼り付けること。なお、音声合成は、右折、左折、後退、渋滞通過、交差点通過等の機能を有し、渋滞通過、交差点通過等のスイッチは、ダッシュボードに設けること。（詳細は別途協議）
- 3 キャブ上部に散光式赤色警告灯を取り付けること。
- 4 キャブ前面に、赤色L E D型点滅灯を左右対称に2個取り付けること。なお、スイッチは、散光式赤色警告灯と連動すること。
- 5 キャブ内に、車両用バッテリー管理機（ずぼら充電器又はC T E K）を取り付けること。
 - (1) 車体側面の支障のない箇所に、マグネット式車外コンセント（丸型）を設け、10 mコードを付属すること。なお、扉は容易に開閉しない措置を講ずること。（詳細は別途協議）
 - (2) 車外コンセント差込部は、落下しても容易に破損しないよう措置を講ずること。
 - (3) 車外コンセントを差し込むことにより、小型動力ポンプ等に電源を供給できる構造とし、通電確認ランプを付加すること。（詳細は別途協議）
- 6 キャブ内にインバータ装置（定格1 0 0 0 W・外部電源自動切替器）を設け、1 0 0 V電源が使用できること。（コンセント数、取付位置等、詳細は別途協議）
- 7 左右ドア内側下方に、ドア開放と連動して点灯する足元灯（フットランプ・L E D型）をそれぞれ設けること。
- 8 助手席にスイッチ付きフレキシブルマップランプ（L E D型）をそれぞれ設けること。
- 9 キャブ内室内灯（L E D）は、助手席上部に1灯、後部座席上部に2灯設けること。スイッチは3段切り替え式（O N、O F F、ドア連動。）とすること。
- 10 車両側面は嵩上げ加工を施し、嵩上げ部に標識灯（埋め込み式）、赤色点滅灯及びL E D作業灯を左右対称に設けること。なお、赤色点滅灯のスイッチは、散光式赤色警告灯と連動し、L E D作業灯のスイッチは、車両後面に設けること。（詳細は別途協議）
- 11 車体後面上部に、赤色点滅灯及びL E D作業灯を左右対称に各1個設けること。なお、赤色点滅灯のスイッチは、散光式赤色警告灯と連動し、L E D作業灯のスイッチ

は、車両後面に設けること。

- 12 車体左右に路肩を有効に照らす路肩灯（LED型）を設置すること。
- 13 車体後部左右にサイドマーカーランプ（黄色）を設置すること。なお、点灯は、夜間照明連動とすること。
- 14 各ボックスに、ボックス灯（LED型）を設けること。なお、点灯は、シャッター及び扉の開閉に連動すること。
- 15 車両右側及び車両後面に、AC100Vの防水型2口コンセントを取り付けること。
（詳細は別途協議）
- 16 水損のおそれがある部分の配線及びスイッチには、防水処置を施すこと。
- 17 スイッチ類には、名称、ON、OFF表示を取り付けること。
- 18 必要な場所に、コーションプレートを取り付けること。
- 19 電装品の取り付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用し、ヒューズボックスは艀装用として独立したもので、ボデーの配線貫通部はグロメット等で保護すること。
- 20 配線は、次のとおりとすること。
 - (1) 系統別に色分けすること。
 - (2) 配線貫通部には、全てブッシュゴムを取り付けること。
 - (3) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
 - (4) 機器類付近の接続部は圧着端子とし、端子にはビニールカバーを取り付けること。
 - (5) 車体外部に露出する配線は防水及び被覆保護のため、ビニールカバー付きとすること。

第9 無線機及びAVM

無線機一式（外部通話装置付き）及びAVMは、受注者が既存車両から移設するものとし、移設費用（システム設定を含む）については受注者が負担するものとする。（詳細は承認図面提出時に別途協議）

1 装備構成品

(1) 無線装置

ア 無線機本体	1台
イ 無線機本体取付金具	1個
ウ 空中線（ダイバーシティ）	2個
エ 空中線共用器	1個
オ 送受話器（付属品及び取付金具を含む）	3個
カ 外部スピーカー（車内用1個・車外用防水型2個）	1式
キ アナログ波（防災相互波）	1式
ク 電源配線等、その他付属品	1式

- | | | |
|---|-------------------|----|
| ケ | メインスイッチ及び外部切替スイッチ | 1式 |
|---|-------------------|----|
- (2) AVM
- | | | |
|---|--------------|----|
| ア | AVM本体 | 1台 |
| イ | AVM本体取付金具 | 1式 |
| ウ | インターフェイスボックス | 1式 |
| エ | アンテナ | 1式 |
- 2 本体及び付属品
- (1) 無線機及びAVMは市支給のものとする。
- (2) 無線機及びAVMは、助手席及び運転席から容易に操作でき、かつ、運転者の視界を妨げない位置に取付金具で固定すること。
- (3) AVMバッテリー、無線アンテナ及び配線等は、全て新品のものに交換すること。
- (4) 車内スピーカーは、天井部に取り付けること。(詳細は別途協議)
- 3 車外制御器及び送受話器
- (1) 車外制御器は、車外の専用ボックス内に操作性を考慮し取り付けること。
- (2) 車体前方左右シャッター内に、送受話器(スピーカー内蔵一体型)、AVM車外設定端末装置を設けること。また、シャッター開放で車外スピーカーへ接続され、不要な時には遮断できるようにすること。(詳細は別途協議)
- 4 車両用アンテナ
- (1) アンテナは、台座を設けルーフ側面に適切な間隔をもって配列よく取り付けること。また、無線の電波障害防止の処置を施すこと。(別途指示)
- (2) 配線等を敷設する際には、損傷防止のため配管配線施工し、天井及び側板内に埋設施工すること。貫通部分及び配線止めには緩衝材を用いて損傷を防止すること。また、露出配線は極力最小限とし、貫通部分からの雨露の浸入がないよう防水処理を施すこと。
- 5 スイッチ
- メインスイッチは、車両エンジンキーのアクセサリポジションと連動で始動し、エンジンキーオフで無線機本体の電源を遮断できること。(別途協議)
- 6 その他
- (1) 無線機はデュアル仕様とし、取り付けに伴う車両の改造は、受注者と協議の上、その指示を受けるものとする。また、AVM車載端末の取り付け位置を確保し、取り付けに伴う配線等で美観を損なわない施工とすること。
- (2) 本車両の無線機は、既設の「ちゅうおうしょうぼう32」の無線機を積み替えるものとし、識別信号は、「ちゅうおうしょうぼう32」のままとする。
- (3) 本車両のAVMは、既設の「四国中央消防32」のAVMを積み替えるものとし、システム登録は「四国中央消防32」のままとする。
- (4) この仕様書は、大綱を示したもので、施工上必要な部品は完備すること。

- (5) 無線機及びAVMの取り付けは、市の承認を受けた業者において施工させ、納入前に取り付け完了すること。
- (6) 取り付け完了後、電波法に基づき点検を実施し、点検試験成績表を提出すること。

第10 塗装及び記入文字

- 1 車体塗装は、完全な防錆加工を施し、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、十分乾燥させ朱色塗装により3回以上の塗装、磨き、艶出し仕上げを行うこと。塗料は、揮発性有機溶剤（VOC）削減、環境負担物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。（これと同等以上の方法で塗装する場合は、別途協議し市の承認を得ること。）
- 2 各ドア開放時内側は同色塗装とすること。また、開放時の事故防止のため、反射テープ（黄色）を貼り付けること。（詳細は別途協議）
- 3 シャッター部は、朱色塗装とすること。
- 4 アルミ縞板使用部及びホイールは、無塗装とすること。
- 5 車両下回りは、ジーバート防錆処理塗装（黒色塗装）とすること。
- 6 ボデー内部は、メーカー標準とする。
- 7 事故防止のため、車体両側及び車体後面に、再帰性に富んだ反射材（シェブロン・マーキング、バツテンバーグ・マーキング等。）を貼り付けること。（詳細は別途協議）
- 8 ボックス開放時の事故防止のため、反射テープ（黄色）を貼り付けること。（詳細は別途協議）
- 9 機器の操作部分には操作ネームプレートを取り付けること。
- 10 市がデザインしたシンボルマークを貼り付けること。（詳細は別途協議）
- 11 文字記入は、丸ゴシックとし、記入する文字は左を起点とすること。

記入文字	文字色	貼付位置
四国中央市消防署	白色反射 (縁取り)	キャブ後部ドア両側
東分署	黒色	標識灯
消32	白色反射 (縁取り)	助手席側ヘッドライト上部 車両後部
「四国」「中央」「消32」	黒色	キャブ上部 (縦60cm×横120cmの範囲)
所属名・ロゴマーク等	複数色	車両側面及び後面
積載物品名・積載量・積載重量	白色	後部

(デザイン、位置等の詳細は別途協議)

第11 特記事項

- 1 本仕様書は車両の特性上、活動面及び安全面を重視し、長期間運用することを前提に考案したものであるため、内容を熟読の上で製作すること。
- 2 納入時に、車両エンジン及び資機材収納庫等の鍵には名称札を取付けた上、メインキー、予備キーあわせて3組を納入すること。
- 3 受注者は、市の指定する場所で当該車両に十分慣れるよう技術指導を実施すること。
- 4 受注者は、納入後に旧車両（トヨタ・タウンエーストラック）の永久抹消登録（廃棄処分）を実施すること。なお、廃棄に要する費用は受注者の負担とする。また、自動車重量税及び自賠責保険料の還付金がある場合は、還付手続きをとること。
- 5 自動車登録番号は、市指定の番号とする。
- 6 車両の製作にあたり、資材、積載品及び付属品は可能な限り四国中央市内の業者から調達すること。
- 7 その他、本仕様書に定めのない必要な事項が生じたときは、市と受注者が対等の立場に立ち協議するものとする。

装備品等一覧表(東分署積載車)

取付品及び取付装置一覧表

No. 1

No	品名	内容	個数
1	車両機装一式	2 t級シャシ(4WD、AT)	1式
2	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1個
3	エンジン水温計	シャシ固有のもの	1個
4	エンジン油圧計警告灯	シャシ固有のもの	1個
5	エンジンアワーメータ	シャシ固有のもの	1個
6	電圧計	シャシ固有のもの	1個
7	座席シート	超防汚シートカバー(防水加工)	全席
8	サイドバイザー	シャシメーカー純正品(ステンレス製)	4個
9	スイッチボックス	大阪サイレン製SBW-D1、リレーボックス付き、10連スイッチ	1式
10	警告装置	シャッター、小型動力ポンプ	1式
11	モニター型バックミラー	常時監視カメラ	1式
12	センターコンソールボックス		1式
13	シートライザーボックス	後部座席下(左右側面に扉付き)	1式
14	車内ルームライト	高輝度LED(運転席遮光付)	1式
15	マップランプ	LED型スイッチ付き、助手席、後部座席両側	3個
16	ドライブレコーダー	前後撮影カメラ、GPSユニット、記録媒体(32GB以上)	1式
17	AC/DCインバーター	1,000W以上 2口コンセント(車内/車外)	1式
18	消防章	フロントパネル中央部(樹脂製150mm、台座付き)	1個
19	フロントグリル	メッキ仕様	1式
20	アウトサイドミラー	運転席、助手席電動格納式、メッキ仕様	1式
21	補助サイドミラー	助手席側、メッキ仕様	1式
22	牽引フック	シャシメーカー純正品	1式
23	旗立パイプ	旗竿、布旗含む(別途指示)	1式
24	ドア開閉時反射板	3M製 ドアエンドリフレクター(全ドア分)	1式
25	手動式アルミシャッター	朱色	1式
26	展開式ステップ	滑り止め・反射テープ・ステンレス	1式
27	天井昇降用展開はしご	展開式	1式
28	バッテリー充電管理装置	ずぼら充電器(又はCTEK)、丸形マグネットコンセント仕様 (小型動力ポンプバッテリー含む) 通電確認ランプ付き(10mコード付き)	1式
29	後退警報器	シャシ固有のもの	1個
30	泥除けゴム	シャシに含む	4枚
31	車幅灯	LED灯	2個
32	路肩灯	LED灯	2個
33	各収納ボックス内照明灯	LED灯	1式
34	散光式赤色警告灯	ウィレン製 CV510R(24) 1220(自在金具CMKAJ付) 同等品以上	1式
35	標識灯	車両側面嵩上げ部埋め込み式	1個
36	前面赤色点滅灯	ウィレン製 W10NSMBR(24)(フラッグ色:黒)	2個
37	側面赤色点滅灯	ウィレン製 M7FCR(24)(保護枠付) 同等品以上	4個

装備品等一覧表(東分署積載車)

取付品及び取付装置一覧表

No. 2

No	品名	内容	個数
38	後面赤色点滅灯	ウイレン製M6V2CR(24) (保護枠付) 同等品以上	2 個
39	側面作業灯	ウイレン製M7ZC(24) (保護枠付) 同等品以上	4 個
40	電子サイレン	大阪サイレン製 Mark-D1・TSK-D152Y(外部スイッチ付き) ※クラクション連動 電子サイレン用スイッチ、専用マイク (MC-D1L)	1 式
41	モーターサイレン	大阪サイレン製 6SA型	1 式
42	音声式警告装置	後退・右左折音声警告(防水断音)	1 式
43	AVM装置移設		1 式
44	無線機移設		1 式
45	可搬式小型動力ポンプ	B-2 級	1 式
46	電動油圧式自動昇降装置	シバウラ SW510PC / SW510PC-L	1 式
47	昇降装置マルチラック	シバウラ SW510-PCマルチラック	1 式
48	吸管	オーサカゴム LF-RS(6m) ※角付金具及び結束バンド含む	1 本
49	ワンタッチ式吸管ストレーナー	ワンタッチ取付控綱付、岩崎製作所製ストカゴ、ヒップラー、ガイドロープ (フック付き)、75mm差込オス	1 式
50	吸管ロープ	吸管引上げロープ (ステンレス製よりもどき付編み込みロープ 10mm×6m)	1 本
51	異径媒介金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	1 個
52	低水位ストレーナー	岩崎製作所 ウォーターキャッチャーⅢ型 ネジオス×差込オス金具付	1 個
53	吸管まくら木	ゴム製	2 個
54	吸管スパナ		2 丁
55	逆延長金具	アルミ製 65×65	1 組
56	ノズル	YONE 製 クアドラフオグノズル (呼称50・0.7MPa)	2 個
57	ノズル	YONE 製 ボアテックスノズル (呼称50・0.7MPa)	2 個
58	ノズル	YONE 製 区画制圧ノズルCAN	1 個
59	異径媒介金具	呼称65差込メス×50差込オス	4 個
60	ホース	65mm×20m 1.6Mpa カラーホース 消防本部名入り、動産保険 (1年間) ※高強度アラミド繊維仕様 同等品以上	30 本
61	ホース	50mm×20m 1.6Mpa カラーホース 消防本部名入り、動産保険 (1年間) ※高強度アラミド繊維仕様 同等品以上	10 本
62	ホースバック	ホースバックⅡ W50-65 消防本部名入り	10 個
63	ホースバック	ホースバックOFD 消防本部名入り	10 個
64	ホース背負器	ホース背負器 (65mm×3本収納・アルミ製タイヤ付き)	6 器
65	分岐管	マルチ65・50mm併用型	2 個
66	スタンドパイプ	単口引上800mm	1 本
67	ホースブリッジ	CB-450	2 組
68	ホース漏水応急バンド	マジックテープ式	20 個
69	ホース洗浄機	YOKOI PATWasher	2 個
70	消火栓開閉金具 (ストレート)	岩崎製作所 MH75 1,000mm、1,500mm	各 1 本
71	消火栓開閉金具 (菊型)	1,000mm、1,500mm	各 1 本
72	マンホール開閉専用バル	日之出水道機器株28型 同等品以上	2 本

装備品等一覧表(東分署積載車)

積載品及び付属品

No.3

No	品名	内容	個数
73	空気呼吸器	ドレゲールPSS7000 (面体FPS7000) ※面体収納袋、ハードケース含む	3 器
74	空気呼吸器用面体	ドレゲールPSS7000※面体収納袋含む	3 個
75	空気呼吸器用ボンベ	軽量カーボン製 29.4Mpa 90バルブ 3DS 6.8ℓ	6 本
76	検索用資機材	COURANT BAムーニングカラー・オートロールV6MAX	5 個
77	携帯警報器	シグナルクロス (ノード)	6 個
78	とび口	グラスファイバー製 1.8m	2 本
79	金てこ	800mm	1 本
80	弁慶	ライトレスキュー・ハリガンツール	1 本
81	斧	ライトレスキュー	1 本
82	剣先スコップ		1 本
83	ハンマー	小・大	各 1 本
84	ナタ	鞘付	1 本
85	携帯用拡声器	ノボル電気製 レイニーメガホン、ウエストホルダー付き	1 個
86	LED点滅式車両誘導棒		2 本
87	ボルトクリッパー		1 本
88	絶縁ボルトクリッパー	使用電圧 (7000V以下)	1 本
89	警戒区域設定用テープ	「立入禁止・KeepOut」	3 巻
90	カラビナ	ベツル OKトラリアクトロック	20 個
91	夜光ベスト	LED自発光式ベスト	5 着
92	携帯無線機ホルダー (肩掛けベルト含む)	株式会社ライズ (Risingベルト&ホルダーセット)	5 個
93	ロードコーン	LEDライト付きハンディ伸縮 (折りたたみ式) オモリ付き (3個)	3 個
94	車輪止	ゴム製	4 個
95	スペアタイヤ	スチールホイール付	1 本
96	タイヤチェーン	スタッドレスタイヤ用	1 式
97	オイルジャッキ	シャシメーカー純正品	1 式
98	消火器 (ケース付)	A B C粉末 (自動車用10型) 取付け含む	1 本
99	ポンプ工具	スパナ、レンチ等 (小型動力ポンプ)	1 式
100	手かぎ		2 本
101	燃料携行缶	可搬ポンプ用20ℓジープ缶タイプ (消防法適用品)	1 缶
102	足下マット	シャシメーカー純正品 (ラバーマット)	1 式
103	プースターケーブル	大型車両用	1 組
104	補修用ラッカー	赤色 (スプレー式、タッチペン式)	各 2 個
105	ネームシール (ラミネート加工)	「四国中央消防」 大5cm×30cm・中2.5cm×15cm・小1cm×10cm 「東分署」 大5cm×30cm・中2.5cm×15cm・小1cm×10cm ※どちらも横書き	各30枚
106	投光器	マキタ スタンドライト ML008G (ライト用三脚含む)	1 式
107	携帯投光器	ライトレスキュー STRIPE LIGHT	4 個
108	携帯投光器	マキタ フラッシュライト ML007G	3 個
109	チェーンソー	マキタ MUC027GZR3 替刃×5個	1 式
110	高枝チェーンソー	マキタ MUA002GZ 替刃×5個	1 式

装備品等一覧表(東分署積載車)

積載品及び付属品

No.4

No	品名	内容	個数
111	ハンディソー	マキタ MUC029GRD (バッテリー・充電器付) 替刃×5個	1 式
112	バッテリー	マキタ BL4050F	6 個
113	バッテリー充電器	マキタ パワーソースキットXGT8	2 個
114	搬送用カート	花岡車輛 (フラットカート 2×4)	2 個
115	自立式簡易水槽 (アシモリ)	アクアフレックスAF-200 (収納袋付き) ※消防本部名入り	1 個
116	ウォーターチャージャー	YONE製 PC-65	2 個
117	ジェットシューター	Sタイプ (収納袋付き) ※消防本部名入り	5 個
118	携帯ウインチ	カツヤマキカイ チルホール TU-16 専用ワイヤーロープ付き	1 式
119	張力計	山文 TMD-N3000	1 個
120	牽引ワイヤー	橋研ソフトカーロープ Hシリーズ 【H-6A】	1 本

※装備品等にモデル変更があった場合は、納品時点で最新モデルのものとする。(同等品以上)